

アントワーン・エルヴェー
Antoine Hervé

1959年1月20日、Paris生まれ。

ピアニスト、作曲家、指揮者、音楽監督、プロデューサーと、アントワーン・エルヴェーは、色々な才能を併せ持ったミュージシャンである。

8歳の時にピアノのレッスンを受け初め、パリ音楽院ではピアノをPierre Sancan、オーケストレーションをMarius Constant、作曲法をDaniel Lesur, Henri Challan, Jean-Claude Reynaud, Claude Ballifに師事する。

既に15歳の時に自分のオーケストラを率いてthe International Jazz Festival of La Défenseに参加、賞を獲得。

彼自身のレコード・レーベル「Philoé Music」を発足し Andy Emlerとのデュオによる処女作”Horizons”を発表。それに続いてM.Benita, P.Gritzと共に”Trio”を発表する。

Radio Franceで”Bob 13”というオーケストラを発足させアルバム”Live in Paris” “Tutti”という2作品を制作している。

1985年、The Académie du Jazz でDjango Reinhardt賞を獲得。

1987年にはOrchestre National de Jazzの指揮者に迎えられ1989年まで音楽監督として活躍する。この時期、Gil EvansやQuincy Jonesをゲストに迎え、訪れた国は140ヶ国にのぼる。この模様は”ONJ 87”そして”African Dream”という2枚のCDに収められている。

1990年にはあらゆる形式の即興音楽をプロモートする組織”Hexameron”を設立。

ブルガリア系トルコ人の歌手 Yildiz Ibrahimovaと出会い、 Antoine Hervé Quintetとして活躍し CD ”Paris-Zagreb”.を発表している。

また、アントワーン・エルヴェーは、 Philippe Découfléのバレエ作品”Tutti”

の音楽を作曲。同じく Philippe Découfléの作品”Comique”に作曲し1989年に Paris Opera-で上演。

Eric Rochantの映画”Un Monde Sans Pitié”の音楽を担当し編曲、また Gérard Paquetのミュージカル作品”Mr. Astaire”の音楽を担当し、 Dee-Dee Bridgewater を迎えた作品を作曲している。

アントワーン・エルヴェーの国際的な経歴を見てみると、Dee-Dee Bridgewater、Gil Evans, Quincy Jones, Carla Bley, Didier Lockwood, Michel Portal, Daniel Humair, Peter Erskine, Chet Baker, Randy Brecker, Cab Calloway, Martial Solal, Vinko Globokar, Louis Sclavis, Mino Cinelu, Paco Sery, Joëlle Léandre, Claude Nougaro. Dick Annegard...と数多くの録音活動を行っている。

この時期、アントワーン・エルヴェーは数多くの作曲活動も行い、特に Dominique Rebaudとのダンスショー"L'Opéra des Pékins"、Blanca Liと"Macadam-Macadam"、Laura Scozziと"A Chacun Son Serpent"、Anne Carriéと"Sonate d'Automne"、また Serge Gainsbourgと彼の兄弟 François Hervéの歌曲を編曲した"Mes Bien Chers Frères"の諸作品がある。

またこれらの他にトランペット・コンチェルト"Tribute to Miles Davis"、弦楽四重奏の為の"La Maison Brûlée"、パーカッションとオーケストラの為の"Transit"、Ensemble Alternanceから作曲依頼を受けた"l'Ensemble Inter-Contemporain"、"Transactions"、の諸作品がある。

またバイオリン奏者 Didier LOCKWOODとのデュオ活動も始め、クラシックの曲のテーマをモチーフに、即興を中心とした新解釈を行っている。

1997年 Laurent Pelly をミュージカル・ディレクター、照明に Joël Adamを迎え、120名からなる混声合唱団とアントワーン・エルヴェー・カルテットそして François Moutin、Louis Moutin, Markus Stockhausen のトランペットをフューチャーした"Mozart, La Nuit"を発表している。現在の彼のクインテットは Markus Stockhausen、François Moutin、Louis Moutin、そして Arnaud Franck（打楽器）という編成である。このクインテットで ENJAレコードに"Invention Is You"という作品を吹き込んでいる。

1997年、Festival Inter-celtique de Lorientの為に書いた作品は19名からなるミュージシャンの為の作品であったが、その編成の内9名は bagpipes, bombardes, britain snare drums and Kristen Noguès on celtic harpeといった民族楽器による編成だった。

2000年～2001年には"Suresnes Cité Danse".とのコラボレーションで Blanca Liによるhiphopバレエ作品"Macadam-Macadam", Laura Scozziと Boris Vianによるミュージカル"A Chacun Son Serpent"の作曲も手がけている。

from La Cité de La Musiqueから委託された"Absolute Dream"は、彼のクインテットと17名からなるストリング・アンサンブルによる作品。

2001年以降、仏 Nocturneレーベルより3枚のCDと1枚のDVD作品を発表している。

その1枚目の作品はベースとドラムスに双子の兄弟 François louis Moutinを迎えたトリオ作品"Summertime"である。

2枚目の作品は上記"Mozart, La Nuit"。120名からなる混声合唱団に Markus Stockhausen とDidier Lockwoodをゲストに迎えた作品。

そして3作目は"Inside"と名付けられたピアノソロ。そしてDVD作品は、2003年パリの Théâtre des Bouffes du Nord で収録された"Inside Live"

現在、アントワーン・エルヴェーはピアノ・ソロ、ビッグバンド、そしてスウェーデンのギター奏者Ewan Svensson、コントラバス奏者、森 泰人、そしてドラムスにMagnus Granを迎えた新結成のカルテットを中心に活躍している。2004年9月、この新結成のカルテットで録音を終えたばかりである。